

受賞者の声（公開）

氏 名	日比野 絵美		
受賞時所属	(所属) 名古屋大学大学院創薬科学研究科		
	(職名) 助教		
現所属	(所属) 名古屋大学大学院創薬科学研究科		
	(職名) 助教		
受賞テーマ名	新規がん診断薬・治療薬開発を志向した p53 凝集体分析法開発		
受賞テーマにおける研究活動の現況			
受賞テーマにおいて、将来的に p53 の適切な検出やコントロールを目指しています。これまでポリクローナル抗体にて培養細胞にて評価してきましたが、がん組織においてもやはり p53 アミロイドが存在していることを確認しました。さらにより正確に、また生産性を鑑み、モノクローナル抗体の作製が必要であるため、現在はモノクローナル抗体の作製に取り組んでいます。			
今後における研究活動の展望			
モノクローナル抗体の作製に成功すれば、より p53 凝集体とがんとの関係が明瞭になります。これまではこの部分が予測に基づいていたという問題点があるため、これまでの予測通りなのか、予測に反する状況となっているのかを明らかにしなければ、今後適切な方向に向けた発展が難しいため、非常に重要なターニングポイントになると考えています。			
受賞後の反響・各賞の受賞等			
受賞後、第 21 回国際生物物理会議 (IUPAB2024) にて Student and Early Career Researcher Poster Award を受賞しました。さらに、日本農芸化学会 2025 年度札幌大会での招待講演依頼、2025 年度第 48 回日本分子生物学会年会での招待講演依頼を受けています。			
わかしゃち奨励賞への期待			
受賞の機会をいただき大変光栄でした。愛知県の研究者の激励になるべく、今後もわかしゃち奨励賞が若手研究者の後押しになることを期待しています。			